

2026 年度化学産業論アンケート結果

1, 化学産業論講座の評価（受講者総数：241 人）

設問	評価点 全受講者平均
講義を受けて化学産業（企業）への関心は上がりましたか？ (5:上 ⇔ 1:下)	4. 5
講義は難しかったですか？ (5:難 ⇔ 1:易)	3. 3
講義全体に対する満足度は？ (5:上 ⇔ 1:下)	4. 4

2, 講義の感想（抜粋）

- ✓ 全ての質問に対して丁寧に回答をいただける点が他の講義になく、非常に勉強になった。産業の観点で実際の企業に勤める方からのご講義ということで貴重な機会であり、企業の行う化学に対する理解が深まった。講義についても企業による違いが出ており、その企業の特色を表したものを感じて、毎回楽しく受講できた。
- ✓ 化学産業がどうあるべきか、また社会と共に成長していく中でのあるべき姿について、化学産業が持つ使命について少しでも知れたような気がします。
- ✓ ラボと企業で行う研究の規模の違いや、研究を進める目的の違いなどを詳しく知ることができてよかった。また、大企業を牽引する立場の方々の考え方に触れることができ、社会に出てからの一つのモチベーションにもつなげることができた。
- ✓ 普段の生活では目につかないが必要不可欠である化学産業を授業通してイメージしやすくなった。
- ✓ 化学産業の根底にある取り組みや企業独自の事業について深く理解することができ、将来のキャリアとして「化学産業に関わる仕事に就きたい」という具体的なビジョンが見えた。
- ✓ 学生にとって、企業に勤めている方からの視点でのお話は非常に興味深かった。企業全般にわたるお話や、業界全般にかかわるお話も興味深かったが、講義を担当してくださった方がどのような研究を行ってきたか、どのような事業にかかわり何をしてきたか、といったお話は、自分が企業に就職した後、どのように化学とかかわっていくかを知ることができ、特に興味深かった。
- ✓ 新規性が求められる研究室での研究と利益を優先する企業での研究開発は全くの別物であるということが印象に残りました。また、本講義を通して、製品の社会実

装までの過程に興味が湧いた。

- ✓ 化学が世の中でどのように使われ、役に立つのかという一連の流れを捉えることができました。また、大学での学びが企業でどのように発展し、社会貢献に至るかという点も明確になり、化学産業への興味がより一層強くなりました。
- ✓ 大学のほかの講義では学べないような企業の仕組みや、経済的な側面などを学べてよかった。
- ✓ 普段なんとなく先が見えない感じで勉強していたので、講義内容自体は難しいものもありましたが、化学産業について具体的にイメージが湧いたのが良かったと思います。講義の構成もはっきりしていて聞きやすかったです。
- ✓ 漠然と持っていた化学の産業について知ることができる非常に良い授業でした。目の前の研究をすることも大事だが、世の中に目を向けてみようと思った。

以上